



⑥ 大川ダムこうじ はじの工事が始まったころ—25年ほど前—

昭和48年、大川ダムあががわの工事が始まりました。阿賀川（大川）をせきとめ、大川の水をちょうせつしたり、農業用水のうぎょうや水道用水はつでん、発電用水に利用したりするために、大きなダムをつくることになりました。かんせいまで14年間もかかる大きな工事でした。

その工事といっしょに、国道121号線を広げたり、トンネルをつくったり、ダムせんろのそこにしずむ線路をつけかえたりする工事がすすめられました。

しかし、その工事によって、もとの沼尾地区は、ダムせんろのそこにしずんでしまい、むかしから住んでいた人も、ほかのところにひっこしなくてはなりませんでした。



▲ひっこしする沼尾の人びと